

1 調査日 平成 25 年 11 月 13 日（水）

2 調査の概要

9 月 15 日から 16 日にかけて本県に台風 18 号が襲来し、特別警報が発令され、台風による豪雨により土砂崩れや川の氾濫等が起き、県内各地で床上浸水、土砂崩れなど甚大な被害が発生した。土木交通部が所管する道路や河川、砂防などの施設においても、法面の崩落や路肩欠損、護岸の欠損などの被害を被ったところであり、9 月定例会において復旧に関する補正予算が可決された。当該災害現場を視察し、被害状況や復旧状況等について調査した。

(1) 大津市石居地区災害現場（大津市石居）

大津市石居地区などの大戸川周辺では台風 18 号による豪雨により、護岸の欠損や建物の浸水被害が発生したことから、被害状況や現場における復旧状況などについて調査した。



(2) 信楽高原鐵道杣川橋梁崩壊現場（甲賀市水口町）

台風 18 号による豪雨による信楽高原鐵道に関する被害については、甲賀市水口町にある信楽高原鐵道杣川橋梁の橋脚が増水した濁流に流されましたのを初め、多くの法面崩壊や土砂流入等が確認されている。また、列車は現在も運休となっており復旧の見込みはたっていない。こうしたことから、杣川橋梁崩壊現場の被害状況を調査した。

